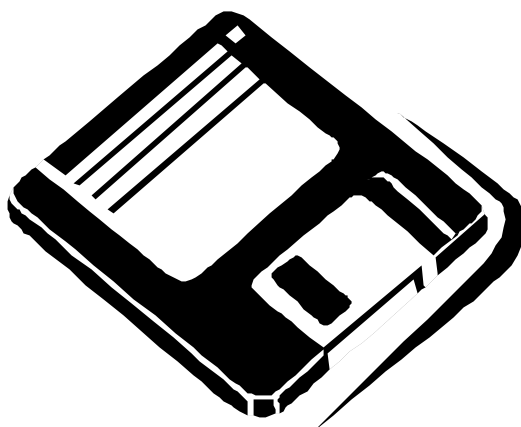
Mocking Bird MO



外付け型FMOモデル
ＵＳＢシリーズ

取扱説明書

株式会社 富士通パーソナルズ

は じ め に

このたびは、Mocking Bird-MO 光磁気ディスクユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。　ご使用いただくまえに、必ず本書をお読みください。

保証書について

保証書は必要な事項がかきこまれているかをご確認ください。　お買い上げ時に正しく記入されていない場合は保証書が無効になり、無償保証を受けられないことがありますので、十分ご注意ください。
記載内容が不十分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。

ユーザー登録カードについて

ユーザー登録カードは、必要事項をご記入の上必ずお出しください。
ユーザー登録がない場合、サポートやバージョンアップなどサービスを受けることが困難になります。

お読みください

１．本書は、制作元が著作権を有します。
２．本書の内容の一部または全部を無断で転載することを禁止します。
３．本製品および本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。
４．本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利については、当社はその責を負いません。
５．本書の内容および本製品に関しては、万全を期して作成および製造しておりますが、万一ご不審な点がありましたら、お問い合わせください。
６．本製品を使用した結果の影響については、５項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
７．また、６項に伴いシステム、データ、MOディスクなどの保証は、一切できかねます。
更に、ソフトウェア・ハードウェアの故障・誤動作・その他のどのような理由によって発生した損失に関しても、一切できかねますのでご了承ください。
大切なデータ、プログラムを収めたMOディスクには、必ずライトプロテクトを行うようにし、さらにバックアップを行うなど、安全策を心掛けてください。
８．本製品は絶対に分解しないでください。　分解されますと、お客様の財産に損害を与える事故が起きても補償いたしません。　また、一度分解されますと故障した場合の修理は保証期間内であっても有償修理となます。
９．本書にある商品名・名称などは、各社の商標または登録商標です。

株式会社 富士通パーソナルズ
ハイパーセレクションサポートセンタ
TEL 0120-65-8180

もくじ

取扱い上のご注意

●ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

●取扱説明書の表示について
　次のような表示と内容により「取り扱い上の注意」を説明しています。
　必ずお読みの上、説明書の内容に沿って正しくお使いください。

	**警告**	この表示は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性がある内容」を警告しています。

	**注意**	この表示は、「事故や故障、損害などが起きる可能性がある内容」を注意しています。



●異常が発生したとき。
本体から異臭や煙、発火が発生した場合には、直ちに電源をＯＦＦにし、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

●異物を入れないでください。
本体内部には高圧な電気が流れている部分や、機械的な動作をする部分などがあります。
異物が入るとショートや機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となりますので絶対に入れないでください。
水など液体が入ったり浸水してしまうと機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。　また状態によっては、修理不可能となる場合があります。
異物が万一入ってしまった場合は、分解したり無理に取り出したりせずに修理としてご依頼ください。

●分解しないでください。
本機は絶対に例えネジ一本でも分解しないでください。
分解されますと、機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。
その際に発生する、いかなるお客様の損害に対しても一切補償いたしません。
また一度分解されますと、いかなる原因によって発生した故障の修理は、保証期間内であっても全て有償修理扱いとなます。　分解された事に対するサポート（修理対応は除く）は一切いたしません。

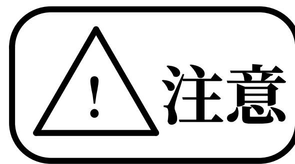
●電源は、専用ＡＣアダプタで使用して下さい。
ＡＣアダプタは必ず専用のものを使用して下さい。
また、ＡＣアダプタはＡＣ１００Ｖ（５０Ｈｚ／６０Ｈｚ）・国内用です。
海外や特殊な電源装置（電圧変換インバータ、発電機など）からの供給によるご使用は絶対にしないでください。機器の破損・故障、あるいは火災・電気的なトラブルなど重大な事故の原因となります。

●電源ケーブルは丁寧に。
電源ケーブルは破損しないように十分にご注意ください
ケーブル部分を持っての抜き差しや、物が乗ったり、鋭い物に当たっていたりすると、ケーブルの被服が損傷し、故障、あるいは火災・電気的なトラブルなど重大な事故の原因となります。

●タコ足配線は止めてください。
タコ足配線は過電流による過熱や火災の原因となります。

●ＡＣアダプタのプラグは確実に根元まで差し込んでください。
差し込みが不完全な場合、隙間にほこりや異物が入り火災の原因となります。

●濡れた手で取り扱うのは危険です。
濡れた手で、本体の取り扱いをしたり電源ケーブルやＳＣＳＩケーブルの抜き差しをすることは絶対にしないでください。機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。



●強い磁気や強い電波が発生しているものには近づけない。
磁石のような磁気を発するものや、無線機のような電波を発するものを近づけないでください。
誤動作をする可能性があります。

●落下したりぶつけたりしない。
輸送時（修理ご依頼や引越し・移動など）のときに落下したりぶつけたりして、強い衝撃や振動を受けると故障や破損する可能性があります。　また、MOディスクを排出してから移動してください。挿入されたまま衝撃や振動を受けると故障や破損する可能性があります。

●電波に影響する機器には近づけない。
この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害の原因となる場合がありますので、近づけないように設置してください。
また、電波に影響される機器にも近づけないようにしてください。誤作動をさせる可能性があります。

●設置は快適な場所で。
振動の大きい場所、ホコリのひどい場所、薬品の雰囲気中での使用はしないでください。故障の原因となります。

●温度や湿度の厳しい場所や状態で使用しない。
極端な高温(低温)状態や高湿度な場所、直射日光の当たる場所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くでの使用はしないでください。故障の原因となります。
また、急激な温度変化は結露の原因となり動作させると故障の原因となりますので、周囲の温度になじんでからご使用ください。

●通風口はふさがない。
内部が高温となり、故障の原因となります。

●設定や接続の変更や操作は電源をＯＦＦにしてから。
接続をしたり変更したりする場合には必ずパソコンおよび周辺機器全ての電源をＯＦＦにした状態で行ってください。本体の設定をしたり変更したりする場合には必ず本体の電源をＯＦＦにした状態で行ってください。　電源ＯＮの状態で取り扱いをすると、故障の原因となります。

●電源のＯＮ／ＯＦＦは順序を守って。
電源投入の順序は、本体および接続されている周辺機器から先にＯＮにして、最後にパソコンの電源をＯＮにするようにしてださい。
本体の電源を切るときは、パソコンの電源を先にＯＦＦにしてから、本体および接続されている周辺機器の電源をＯＦＦにしてください。
◆パソコンと連動して電源がＯＮ／ＯＦＦされる場合はこの限りではありません。

●ＭＯディスクを読み書きしているときは、そのままに。
ライトキャッシュの機能によってパソコン上では書き込みが終了しても、本体は動作を続けています。
本体のACCESSランプが点灯している状態で電源を切ったり、イジェクトを行わないでください。
ＭＯディスクの物理的な破壊およびデータ破壊、本体の破損や故障の原因となります。

●データのバックアップを。
ＭＯディスクへの読み書き動作中に不意の障害や事故が発生した場合、ＭＯディスクの読み書きおよびデータの復元が不可能になる可能性があります。万一のためにバックアップを行うように、安全策を心掛けてください。
また、大切なデータ、プログラムを収めたＭＯディスクには、必ずライトプロテクトを行うようにしてください。

Section 1

ご使用の前に

Part 1　ご使用の前に

(1) 初めてお使いいただく場合は、次の順にお進み下さい。

開　封　　　　　梱包の内容を確認する
▼
読　む　　　　　取扱説明書を順に読む
▼
デバイスドライバのインストール
▼
設　定　　　　　MOディスクユニットの設定／接続
▼
起　動

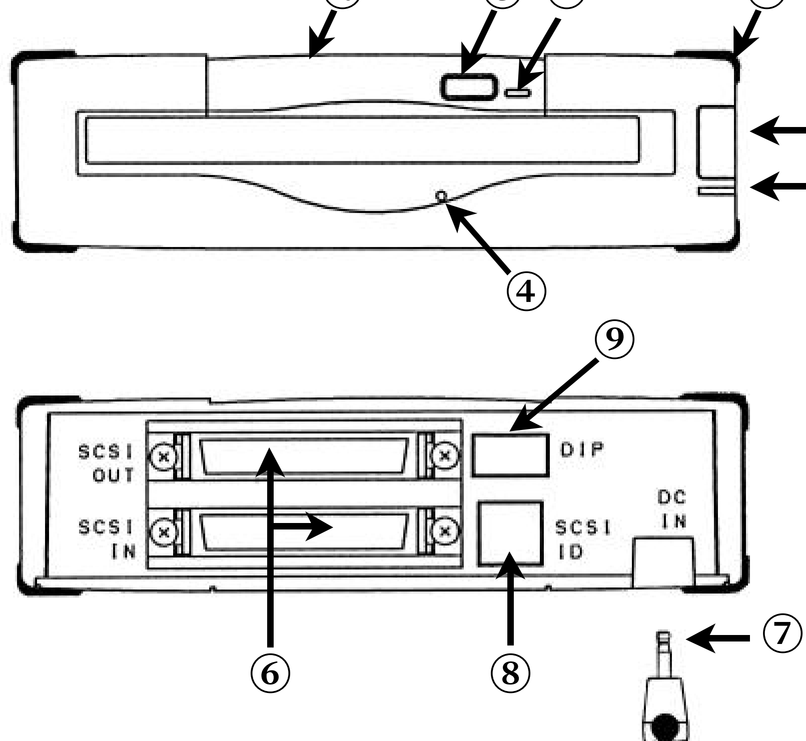
(2) 梱包内容

以下のものが梱包されていることを、お確かめください。
万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店、もしくは当社までお申しつけください。

・MOドライブユニット本体	・・・・・・・・・・・1台
・スタンド	・・・・・・・・・・・1個
・ACアダプタ	・・・・・・・・・・・1個
・取扱説明書（本書）	・・・・・・・・・・・1部
・イジェクトピン	・・・・・・・・・・・1本
・SCSI･ID番号設定用 回し具	・・・・・・・・・・・1本
・つけ替え用カラーパーツ（4色）	・・・・・・・・・・・1式
・640MB・MOディスク（640モデルのみ）	・・・・・・・・・・・1枚
・1．3GB・MOディスク（1300モデルのみ）	・・・・・・・・・・・1枚
・Mocing Bird-MO デバイスドライバ（CD－ROM）	・・・・・・・・・・・1枚
・Macintosh用 フォーマッタソフト B's Crew（CD－ROM）	・・・・・・・・・・・1枚
・USB－SCSI変換ケーブル	・・・・・・・・・・・1本
・保証書	・・・・・・・・・・・1枚
・ユーザー登録カード	・・・・・・・・・・・1枚

Part 2　各部の名称とそのはたらき

1．MOドライブユニット



① ACCESSランプ
MOディスクの読み書き動作時に緑色に点灯します。

② POWERランプ
MOディスクユニットの電源がONになると、緑色に点灯します。

③ EJECTスイッチ
MOディスクの取り出しのときに押すスイッチです。
MOディスクユニットの電源がONになると、使用することができます。
◆MOディスクユニットの電源がOFFのときには使用できません。
◆Macintosh でお使いのときには、使用できません。

④ 強制EJECTホール
MOディスクが取り出せなくなったときに、付属のイジェクトピンで差し込んで、強く押すと取り出せます。
◆緊急時のみお使いください。

⑤ POWERスイッチ
MOディスクユニットの主電源スイッチです。

⑥ ＳＣＳＩコネクタ

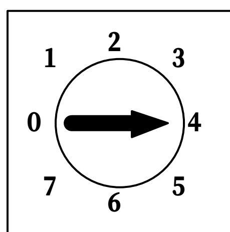
ＳＣＳＩカードやＳＣＳＩ機器とケーブルで接続するコネクタです。
コネクタ形状はハーフピッチ Ｄｓｕｂ５０ピン（メス）です。

⑦ ＤＣ ＩＮ（電源供給）

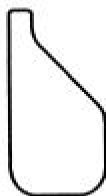
付属のＡＣアダプタ（FMO-ADP）より電源を供給します。
図のようにMOディスクユニットの「ＤＣ ＩＮ」にＡＣアダプタのプラグを奥まで止まる様に差し込みます。

⑧ ＳＣＳＩ・ＩＤ番号設定用スイッチ

MOディスクユニットのＩＤ番号を設定するスイッチです。
付属の回し具をスイッチの矢印部分に差し込み、回転させて設定したい番号に合わせて下さい。



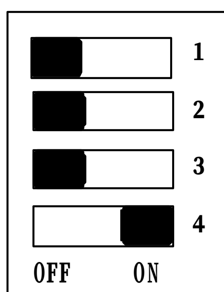
▲出荷時の設定



▲回し具

⑨ MO設定用スイッチ

MOドライブユニットの設定を行うスイッチです。

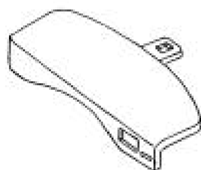


ＳＷ１	ＯＦＦ *MOモード*		
ＳＷ２	*ＯＦＦ* *未使用（このままでお使い下さい）*		
ＳＷ３	*ＯＦＦ*	ＯＮ	Macintoshモード
ＳＷ４	ＯＦＦ ターミネータ ＯＦＦ	*ＯＮ*	*ターミネータ ＯＮ*

▲出荷時の設定

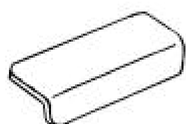
⑩ カラーパネル

付属のカラーパネルにより、お好みの色につけ替えできます。
◆つけ替えの方法については、このあとの説明をお読みください。



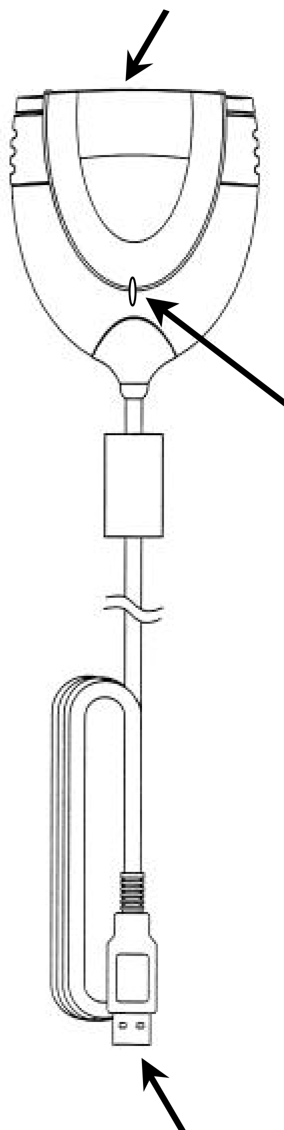
⑪ カラーコーナー

付属のカラーコーナーより、お好みの色につけ替えできます。
◆つけ替えの方法については、このあとの説明をお読みください。



２．ＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブル

ＵＳＢ端子を装備するコンピュータとMOドライブユニットを接続するケーブルです。



① ＳＣＳＩコネクタ

MOドライブユニット側へ接続します。

② ＵＳＢコネクタ

コンピュータのＵＳＢ端子側へ接続します。

③ モニターランプ

ＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルが動作していると、点灯します。
（点灯は、動作状況により一定ではありません。）

Part 3　取扱いについて

１．メンテナンス

MOドライブおよびMOディスクは、ゴミ，ちり，ほこり，タバコの煙や灰などの付着によって性能が低下したり、場合によっては装置の故障の原因となります。安全にご使用いただくには、MOドライブおよびディスクを定期的に清掃する必要があります。

(1)MOドライブユニットのお手入れ

まず、 ＡＣ電源ケーブルをコンセントから外してください。
本体の汚れは、やわらかい布によるカラ拭きか、水または中性洗剤を含ませてよく絞った布で軽く拭いてください。　揮発性の溶剤（ベンジン、シンナー）等の使用は、変形や変色などの原因となりますので避けてください。

(2)MOドライブの清掃

３か月に一回を目安に、専用クリーナを使って清掃します。
◆クリーニングの目安とする期間は使用する環境や頻度によって異なります。

	品　名	商品番号
富士通コワーコ（株）	光磁気ディスククリーニングカートリッジ	０２４０４７０

(3)MOディスクの清掃

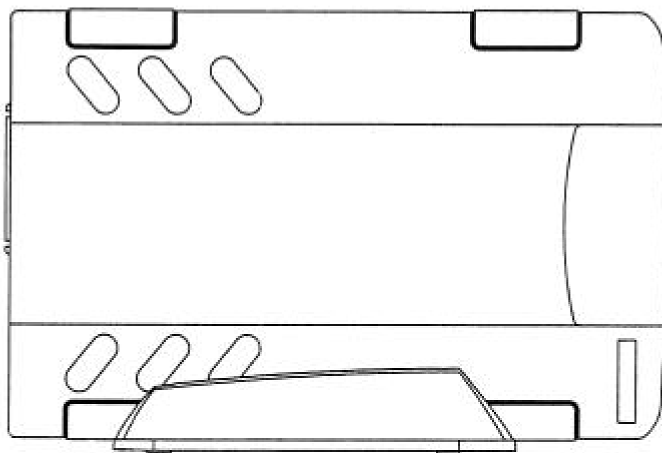
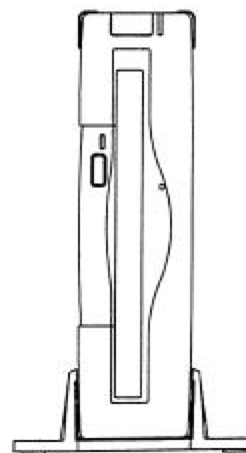
３か月に一回を目安に、専用クリーナを使って清掃します。
◆クリーニングの目安とする期間は使用する環境や頻度によって異なります。

	品　名	商品番号
富士通コワーコ（株）	光ディスククリーニングキット(3.5型)	０６３２４４０
	光ディスククリーニングキット(補充用)	０６３２４５０

２．MOディスクとユニットの取扱い

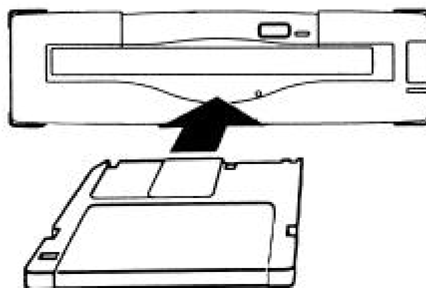
(1)MOディスクユニットの設置方向

横置きのデザインになっていますが、付属のスタンドにて縦置きもできます。

(2)MOディスクの挿入

ディスク挿入口からMOディスクを入れます。「カチッ」という音がするまで押し込んでください。
MOディスク挿入直後、ACCESS ランプが数秒間点灯します。この間に装置はディスクの管理状態をチェックして、読み書きを行う準備をしています。



(3)MOディスクの排出

イジェクトスイッチを押してMOディスクを排出します。
何かの不具合により通常の方法で排出できなくなったときは、強制イジェクトホールにイジェクトピンを入れて排出します。

・イジェクトピンによる排出

1）まず、本体の電源は切った状態にしておきます。
2）強制イジェクトホールにイジェクトピンを入れて、やや強めに押して排出します。
3）排出後、再度電源スイッチをＯＮにしてMOディスクを挿入します。
ACCESS ランプが数秒間点灯し消灯した後、イジェクトスイッチで排出します。
4）本体の電源をＯＦＦにしてください。



注意 ＭＯディスクユニットの性能と信頼性を確保するため、イジェクトピンを使用してディスクを取り出す場合には、必ずユニットの電源を切った状態で行ってください。

(4)MOディスクのラベルについて

MOディスクにラベルを貼る場合には、必ず専用のラベルを決められた位置に貼付してください。
また、貼付する面は汚れや油分などをきれいに拭き取っておいてください。
専用のラベル以外のものを貼付したり、貼り直しや、貼付する面が汚れていると剥がれの原因となり、場合によってはMOドライブユニットの内部に貼り付いてしまい、排出が困難となります。

(5)オーバーライト機能について

これまでは、MOにデータを書き込みする場合［消去］→［書込み］→［ベリファイ］の３ステップが必要で、書込みの遅さがMOの弱点とされていました。　しかし、オーバーライト対応MOディスクを使用することにより、書込み動作は［オーバーライト］→［ベリファイ］の２ステップになり、回転待ち時間も減少します。オーバーライト機能を使うことにより、書込み速度は約３０％アップします。
本MOドライブユニットは、この機能に対応しておりますのでその快適さを実感することができます。

・オーバーライト機能の使用上の注意

1）オーバーライト機能はオーバーライト対応MOディスクが必要です。
2）従来のMOディスクを使用した場合は、従来と同じ書き込み速度になります。
3）オーバーライト対応MOディスクは、この機能に対応していないMOドライブでは使用できません。

オーバーライト対応MOディスクは、次のものをおすすめします。

	品　名	商品番号
富士通ピーアンドエス	６４０MBオーバーライト対応 OW６４０	０２４２７１０
	５４０MBオーバーライト対応 OW５４０	０２４２５１０
	２３０MBオーバーライト対応 OW２３０	０２４２３１０

３．カラーパーツのつけ替え方法

付属のカラーパーツは、４色のカラーパネルとカラーコーナーがあり、お好みの色につけ替えができます。

(1) カラーパネルのつけ替え

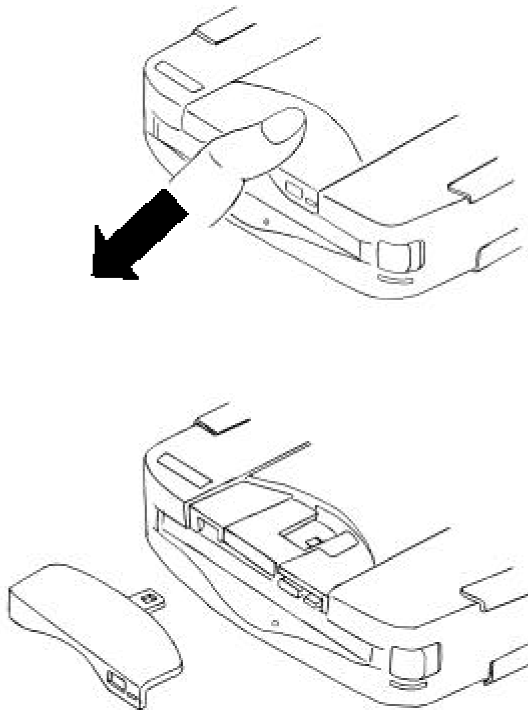
付属のカラーパネルにより、お好みの色につけ替えができます。
つけ替えは、次の手順で行ってください。

・つけ替え上の注意

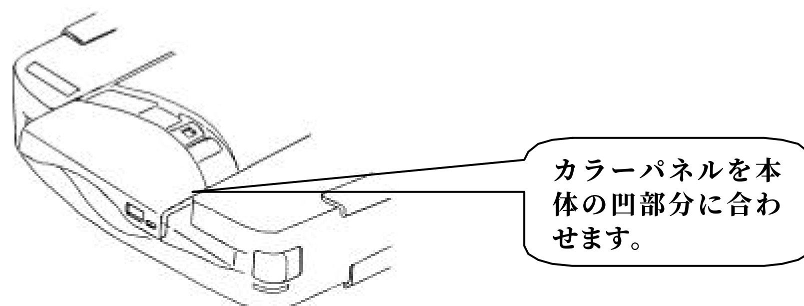
1）カラーパネルを外したままでのご使用は、故障や破損の原因となりますので絶対にしないでください。

2）つけ替えには、工具は一切必要ありません。無理に工具を使用してつけ替えすると、故障や破損の原因となりますのでしないでください。

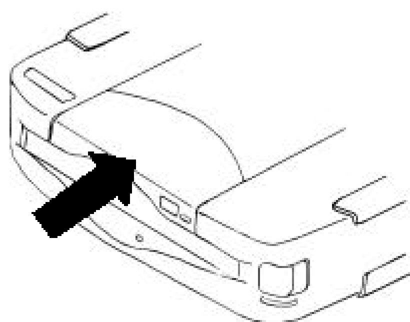
(a) 出荷時に装着されているカラーパネル（ブルー）を次のようにして取り外します。
本体を片方の手で動かないように持ちます。
もう一方の手で、カラーパネルの上面を図の様に押し気味にして、水平にゆっくり手前に引きます。
（カラーパネルを強く押しすぎると、破損してしまいますのでご注意ください。）



(b) イジェクトボタンにさわらないようにして、つけ替えたいカラーパネルを図のようにカラーパネルを外したあとの本体の凹部分に合わせます。
（本体の凹部分に合わない状態で、取り付けようとすると破損してしまいますのでご注意ください。）



(c) そのまま水平にスライドし、パチンと音がするまで更に押し込みます。



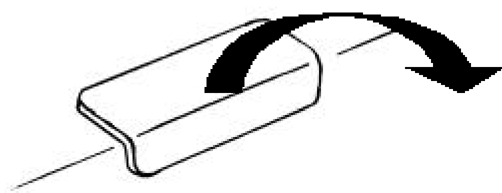
(2) カラーコーナーのつけ替え

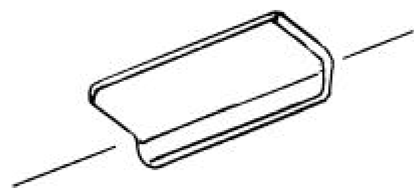
付属のカラーコーナーより、お好みの色につけ替えができます。
つけ替えは、次の手順で行ってください。

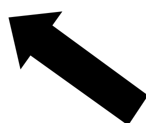
・つけ替え上の注意

1）カラーコーナーを外したままでのご使用は、据え置きが不安定になりますのでしないでください。
2）つけ替えには、工具は一切必要ありません。無理に工具を使用してつけ替えすると、故障や破損の原因となりますのでしないでください。

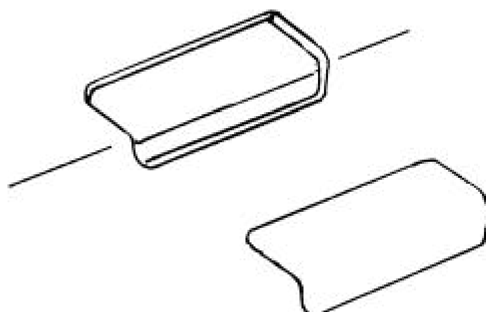
(a) 出荷時に装着されているカラーコーナー（ブルー）を次のようにして取り外します。
カラーコーナーは上下各４カ所、合計８カ所あり、粘着材で貼り付いています。
カラーコーナーを図のように剥がします。



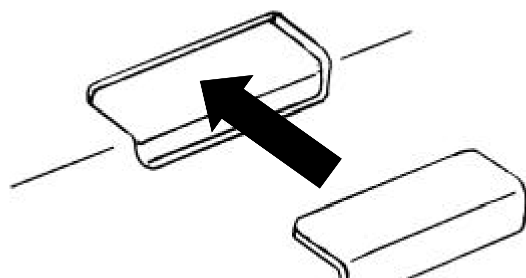




(b) 付属の両面シールを図のようにカラーコーナーを外したあとの本体の凹部分に合わせ、貼り付けます。



（c）つけ替えたいカラーコーナーを、両面シールを貼付した部分に合わせて貼り付けます。



Part 4　コンピュータとの接続

１．MOドライブユニットの接続について

このMOドライブユニットは、ＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルによりＵＳＢ端子を装備しているコンピュータに接続することができます。



注意 注意事項を守ってください。　もし、適正にご使用されなかった場合、MOディスクの物理的な破壊およびデータ破壊、装置の破損や故障の原因となります。

(1) MOドライブユニットとＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルの接続

(a) MOドライブユニットに付属のＡＣアダプタを差し込み、ＡＣアダプタをコンセントに接続します。
(b) MOディスクドライブユニットのＳＣＳＩコネクタにＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルのSCSIコネクタを「カチッ」と音がするまで差し込み、抜けないように固定してください。
　◆MOディスクドライブユニットのＳＣＳＩコネクタは２箇所（SCSIIN、SCSI OUT）ありますが、内部で同一接続となっていますのでどちらを使用されても構いません。
(c) MOドライブユニットのPOWERスイッチをＯＮにします。
(d) コンピュータのＵＳＢ端子に接続します。

・接続での注意

１）必ずこの接続手順で接続してください。
２）MOドライブユニットの電源が入った状態でのＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルのSCSIコネクタ側の抜き差しは、装置の損傷や故障の原因となりますのでしないでください。

(2)．コンピュータからの取り外し

コンピュータのＵＳＢ端子からＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルを外します。

・取り外しの注意

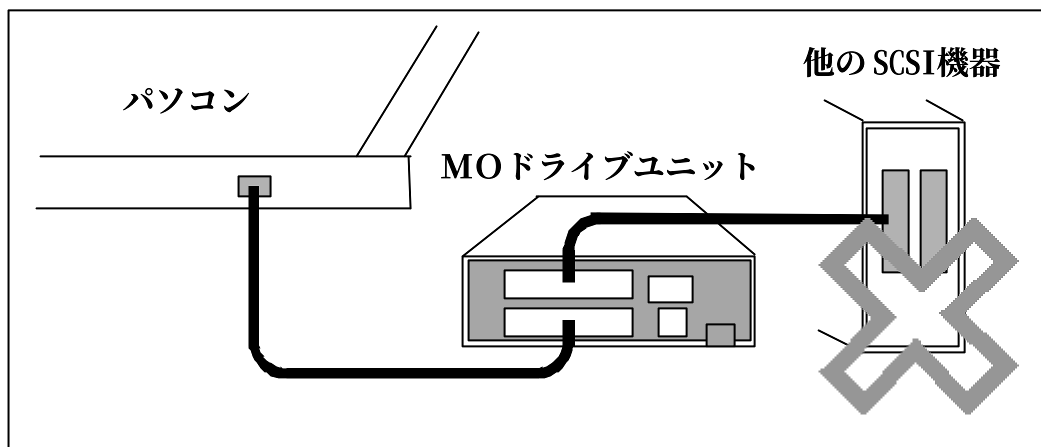
１）MOドライブユニットのACCESSランプが点灯している状態での取り外しは絶対にしないでください。
２）開かれているディスクは、必ずファイルを閉じて,ディスクを排出してから行ってください。
３）必ずMOディスクをドライブより排出（イジェクト）してから行ってください。

２．ＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルご使用の注意

ＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルは、次のような接続はできませんのでご注意ください。
もし、誤った接続を行いますと、正常な動作をしないばかりか、装置の損傷や故障の原因となります。

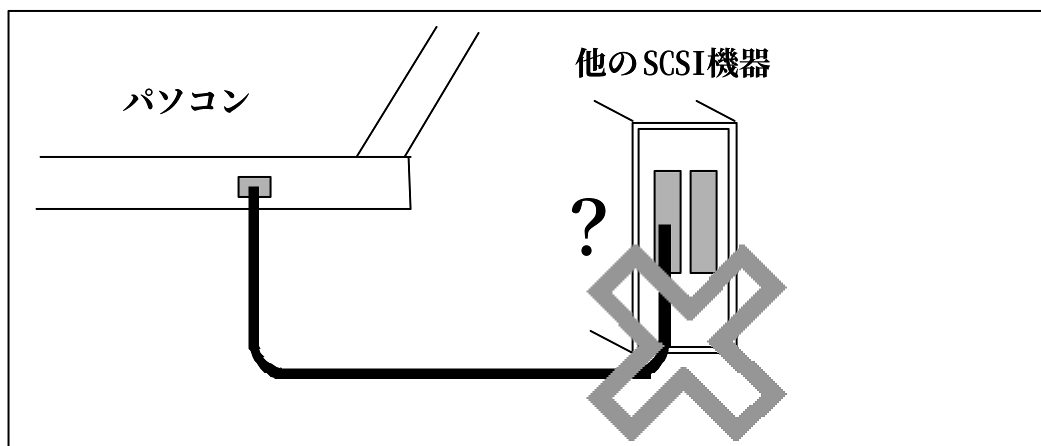
(1) MOドライブユニットに他のＳＣＳＩ機器をディジーチェイン接続

ＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルで接続できるのは、このMOドライブユニット１台のみです。
他のＳＣＳＩ機器をパソコンの次に接続した場合でも、使用できません。



(2) 他のＳＣＳＩ機器を接続

ＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルで接続できるのは、このMOドライブユニットのみです。



Section 2

セットアップ

Part 1　Macintosh

■ 対応機種

Macintosh（但し、以下の条件に該当する機種のみ）

- ● ｉ Ｍａｃ
- ● 新Power Macintosh
- ● Ｍａｃ ＯＳ ８．６以上

■ セットアップの概要

デバイスドライバのインストール
▼
設　定　　　　MOディスクユニットの設定／接続
▼
起　動

■ デバイスドライバのインストール

付属のCD-ROM（Mocing Bird-MO デバイスドライバ、Macintosh用 フォーマッタソフト B's Crew）をMacintoshにインストールします。
コンピュータとの接続と操作は、このデバイスドライバのインストールが完了してから行います。
インストールの手順は、以下の説明に沿って行ってください。
この手順通りに行わないと、正常に動作しない場合があります。

※Macintoshの機種やＯＳなどの環境により、表示される様子・内容が若干異なる場合があります。

(a) ＣＤドライブに「Mocing Bird-MO デバイスドライバ」をセットします。
ディスクトップ上に「MOCKING_BIRD_MO」のアイコンが現れます。



(b) 「MOCKING_BIRD_MO」のアイコンを開くと、「USB-SCSI Ver ---」というフォルダが現れます。



(c) 更に「USB-SCSI Ver ---」フォルダを開くと、「Shuttle USB-SCSI SIM」「Shuttle USB-SCSI」の２つのファイルが現れます。



(d) この「Shuttle USB-SCSI SIM」「Shuttle USB-SCSI」の２つのファイルをドラッグし、Mac OSの「機能拡張」フォルダにドロップします。



(e) 次に「Macintosh用 フォーマッタソフト B's Crew」を同梱の取扱説明書に沿ってインストールします。インストールが終了しましたら、デバイスドライバのセットアップは完了です。

(f) コンピュータとの接続と操作の手順は、このあとの説明（コンピュータとの接続と操作）に沿って行ってください。

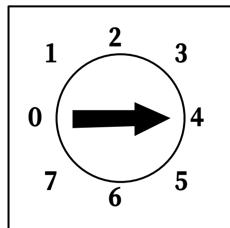
■ コンピュータとの接続と操作

コンピュータとの接続と操作の手順は、以下の説明に沿って行ってください。
この手順通りに行わないと、正常に動作しない場合があります。

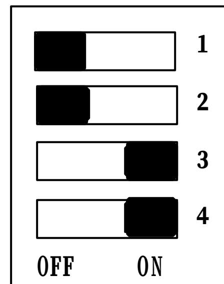
1．MOドライブユニットの設定

SCSI・ID番号設定用スイッチは、出荷時の設定のままで変更の必要はありません。
MO設定用スイッチは、図の様に設定してください。

SCSI・ID 番号設定用スイッチ



MO設定用スイッチ



ＳＷ１　*ＯＦＦ ＭＯモード*
ＳＷ２　ＯＦＦ
ＳＷ３　*<u>ＯＮ</u>*　*<u>Macintosh モード</u>*
ＳＷ４　*ＯＮ*　*ターミネータ　ＯＮ*

2．MOドライブユニットとＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルの接続

(a) MOドライブユニットに付属のＡＣアダプタを差し込み、ＡＣアダプタをコンセントに接続します。
(b) MOディスクドライブユニットのＳＣＳＩコネクタにＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルのSCSIコネクタを「カチッ」と音がするまで差し込み、抜けないように固定してください。
◆MOディスクドライブユニットのＳＣＳＩコネクタは２箇所（SCSIIN、SCSI OUT）ありますが、内部で同一接続となっていますのでどちらを使用されても構いません。。
(c) MOドライブユニットのPOWERスイッチをＯＮにします。

3．コンピュータとの接続

MOディスクがドライブに挿入されている状態での接続は、しないでください。

先程の状態で、コンピュータのＵＳＢ端子にＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルのＵＳＢ側を接続します。

4．MOディスクを開く

(a) Mac OSが起動しましたら、MOディスクをドライブに挿入します。
フォーマットがされているディスクであれば、そのディスクがマウント（アイコンがディスクトップ上に現れます。）されます。
※フォーマットしていないディスク、またはマウントされないディスクは、インストールした「Macintosh用 フォーマッタソフト B's Crew」を起動してフォーマットやマウントの操作をしてください。
（操作の詳細は、「Macintosh用 フォーマッタソフト B's Crew」の取扱説明書を参照してください。）
(b) マウントされたMOディスクのアイコンをクリックすると、ディスク内のデータが表示されます。

５．MOディスクの排出

挿入したMOディスクは、ドライブのイジェクトボタンでは排出できません。
排出するには、マウントされているディスクのアイコンをドラッグし「ゴミ箱」にドロップします。

６．コンピュータからの取り外し

コンピュータのＵＳＢ端子からＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルを外します。

・取り外しの注意

１）MOドライブユニットのACCESSランプが点灯している状態での取り外しは絶対にしないでください。
２）開かれているディスクは、必ずファイルを閉じて,ディスクを排出してから行ってください。
３）必ずMOディスクをドライブより排出（イジェクト）してから行ってください。



注意 注意事項を守ってください。　もし、適正にご使用されなかった場合、
ＭＯディスクの物理的な破壊およびデータ破壊、装置の破損や故障の原因となります。

Part 2　FMV

■ 対応機種

FMV（但し、以下の条件に該当する機種のみ）

- ＵＳＢポートが標準装備されている機種
- Windows98プレインストールモデル

■ セットアップの概要

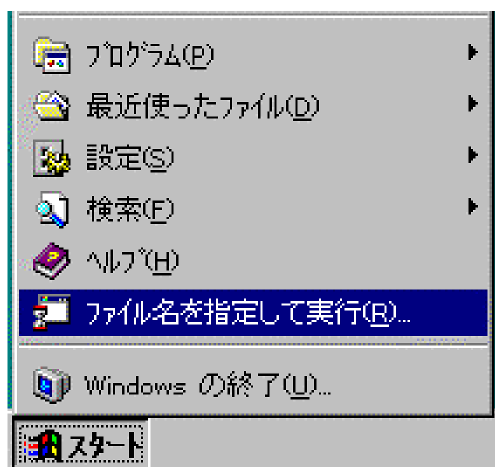
デバイスドライバのインストール
▼
設　定　　　　　　　　MOディスクユニットの設定／接続
▼
起　動

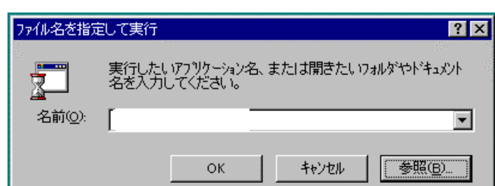
■ デバイスドライバのインストール

付属のCD-ROM（Mocing Bird-MO デバイスドライバ）をＦＭＶにインストールします。
コンピュータとの接続と操作は、このデバイスドライバのインストールが完了してから行います。
インストールの手順は、以下の説明に沿って行ってください。

※ＦＭＶの機種やＯＳなどの環境により、表示される様子・内容が若干異なる場合があります。
説明では、コンピュータのＣＤドライブがＥドライブ、インストールするハードディスクがＣドライブという環境を想定しています。　ご使用になるコンピュータの環境によってドライブ名が説明と異なる場合がありますので、ご使用の環境に合わせて行ってください。

(a) ＣＤドライブ（Ｅドライブ）にデバイスドライバをセットします。
［スタート］から［ファイル名を指定して実行］を選んでください。



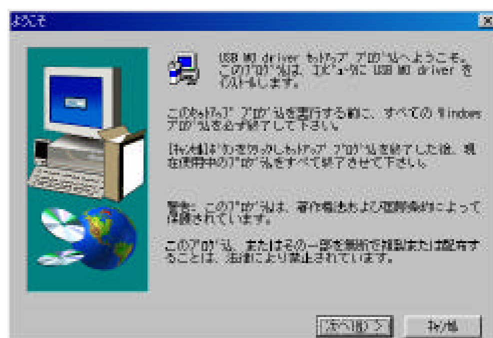


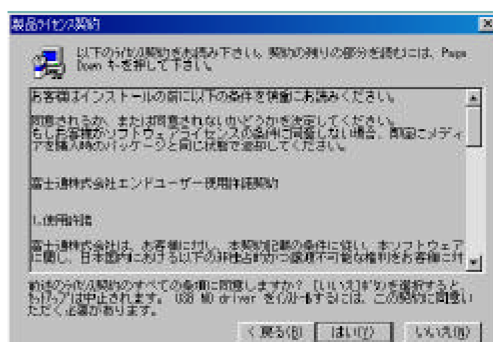
［ファイル名を指定して実行］が開いたら、［名前］の項目に“ *E:DOSV\USB\SETUP* ”と入力して［ＯＫ］をクリックしてください。

(b) ［ＵＳＢ MO Driver］の画面が現れます。



［ようこそ］とインストール導入前に際しての説明が表示されますので、内容を確認しましたら、［次へ］をクリックしてください。





(c) ［インストール先の選択］の表示に移ります。
［インストール先のディレクトリ］の項目に“ C:\Program Files\USB MO ”が表示されますので、［次へ］をクリックしてください。



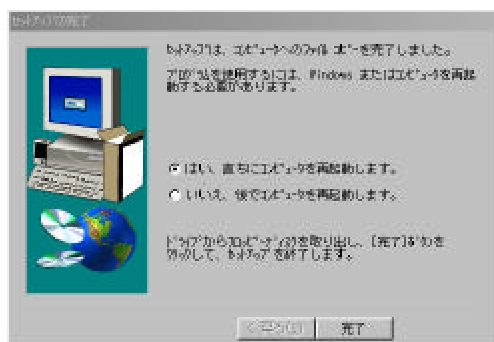
(d)［プログラムフォルダの選択］の表示に移ります。
　［プログラムフォルダ］の項目に“ USB MO ”が表示されますので、［次へ］をクリックします。
その後、プログラムファイルのコピーを行います。



(e) ファイルのコピーを開始します。



(f) 再起動を促すメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして再起動してください。



(g) 正常に再起動しましたら、デバイスドライバのインストールは完了です。

(h) コンピュータとの接続と操作の手順は、このあとの説明（コンピュータとの接続と操作）に沿って行ってください。

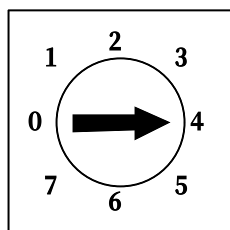
■ コンピュータとの接続と操作

コンピュータとの接続と操作の手順は、以下の説明に沿って行ってください。
この手順通りに行わないと、正常に動作しない場合があります。

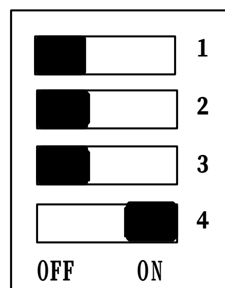
1．MOドライブユニットの設定

SCSI・ID番号設定用スイッチは、出荷時の設定のままで変更の必要はありません。
MO設定用スイッチは、図の様に設定してください。

SCSI・ID 番号設定用スイッチ



MO設定用スイッチ



ＳＷ１　*ＯＦＦ ＭＯモード*

ＳＷ２　ＯＦＦ

ＳＷ３　ＯＦＦ

ＳＷ４　*ＯＮ　ターミネータ　ＯＮ*

2．MOドライブユニットとＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルの接続

(a) MOドライブユニットに付属のＡＣアダプタを差し込み、ＡＣアダプタをコンセントに接続します。

(b) MOディスクドライブユニットのＳＣＳＩコネクタにＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルのSCSIコネクタを「カチッ」と音がするまで差し込み、抜けないように固定してください。

◆MOディスクドライブユニットのＳＣＳＩコネクタは２箇所（SCSIIN、SCSI OUT）ありますが、内部で同一接続となっていますのでどちらを使用されても構いません。。

(c) MOドライブユニットのPOWERスイッチをＯＮにします。

3．コンピュータとの接続

MOディスクがドライブに挿入されている状態での接続は、しないでください。

(a) 先程の状態で、コンピュータのＵＳＢ端子にＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルのＵＳＢ側を接続します。

(b) Windowsで［マイコンピュータ］を開くと、［リムーバブルディスク］のアイコンが表示されます。

4．MOディスクを開く

MOドライブユニットにディスクを挿入し、［リムーバブルディスク］のアイコンをクリックすると、ディスク内のデータが表示されます。

5．MOディスクのフォーマット

フォーマットしていないディスクは、Windowsの［フォーマット］でフォーマットしてください。

◆［フォーマット］は、MOドライブユニットにディスクを挿入し、［リムーバブルディスク］のアイコンを右クリックすると、メニューに表示されます。

（操作の詳細は、「Winodowsのヘルプ」を参照してください。）

６．コンピュータからの取り外し

コンピュータのＵＳＢ端子からＵＳＢ－ＳＣＳＩ変換ケーブルを外します。

・取り外しの注意

１）ＭＯドライブユニットのACCESSランプが点灯している状態での取り外しは絶対にしないでください。
２）［マイ コンピュータ］、［エクスプローラ］やプログラムなどにより開かれているディスクは、
必ずファイルを閉じて、ディスクを排出してから行ってください。
３）必ずＭＯディスクをドライブより排出（イジェクト）してから行ってください。



注意 注意事項を守ってください。 もし、適正にご使用されなかった場合、
ＭＯディスクの物理的な破壊およびデータ破壊、装置の破損や故障の原因となります。

仕　様

型番		FMO－２３０ＵＳＢ	FMO－６４０ＵＳＢ	FMO－1300ＵＳＢ
MOディスク		３．５インチカートリッジ型 ＩＳＯ標準フォーマット光ディスク媒体		
		１２８MB ２３０MB	１２８MB／２３０MB ５４０MB／６４０MB	１２８MB／２３０MB ５４０MB／６４０MB １．３GB
		（１．３GB、１２８MBを除きオーバーライトディスク対応）		
回　転　数 (±0.1%)		３，６００rpm	３，６００rpm	４，５００rpm (1.3GB 使用時 3,214rpm)
平均シーク時間		２３ms		２８ms
バッファ容量		2MBキャッシュ搭載		
周囲環境	動　作　時	温　度　５～３５℃（勾配１５℃／h以下） 湿　度　１０～８５％（結露しないこと）		
	保　管　時	温　度　０～５０℃ 湿　度　１０～８５％（結露しないこと）		
耐振性	動　作　時	振　動　０．４G（５～５００Hz） 衝　撃　２．０G（１０ms）		
	保　管　時	振　動　１．０G（５～５００Hz） 衝　撃　５．０G（１０ms）		
Ｍ　Ｔ　Ｂ　Ｆ		１２０，０００時間		
ＳＣＳＩ	インターフェース	ＳＣＳＩ－２／Ultra SCSI		ＳＣＳＩ－２
		ＵＳＢ変換接続対応		
	コネクタ形状	Ｄｓｕｂハーフ５０ピン メス型		
ターミネータ		アクティブ　ターミネータ内蔵		
電　　源		専用ＡＣアダプタ		
消　費　電　力		１０W以下		
外　形　寸　法		１１９(W)×１８５(D) ×３２(H)mm		
重　　量		約０．９kg		

Ｍｏｃｋｉｎｇ Ｂｉｒｄ－MO
光磁気ディスクユニット取扱説明書

発行日・版数
１９９９年　9月・初版

株式会社 富士通パーソナルズ
Tel. 0120-65-8180

Printed in Japan